

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

御堂筋を4千人がパレード

5月21日、「共謀罪」の廃案を求める、5・21大阪大集会」が、駒公園(大阪市西区)で開催されました。主催は大阪弁護士会で、強い日差しが照りつける暑さの中、約4千人が参加しました。大障教の参加者は、12分会21人でした。

刑法の基本原則を大きく損なう

開会あいさつを行った小原正敏さん(大阪弁護士会会長)は、「共謀罪」は人権を守るために積み重ねられている刑法の基本原則を、大きく損なうものだ」と述べました。そして、



フライヤーを突き上げました

「参加した多彩な市民団体からは、「この法案の推進勢力は、改憲をめざしている(大阪憲法会議)」、「大多数の沈黙が安倍政権を支えている。自分の言葉で周りの人たちに話しかけよう」(戦争あかん! ロックアクション)、「私たちは、自分の弱さを共有し補いつながり合うことができる。弱

全国各地で様々なとりくみ



集会後、難波までパレードしました

産党・辰巳参院議員)、「負けない方法、それは勝つまであきらめないこと」(社民党・照屋衆院議員)などといさつしました。民進党からは連帯メッセージが寄せられました。

参加者は、「コールに合わせて一斉に「共謀罪あかんやろ」強行採決ゆるさん」のフライヤーを突き上げました。集会後は難波までパレードし、「テロ対策 ウソヤー」「心の中 のぞくな」「メールもラインも 見るな」などと、買い物客で賑わう御堂筋を元気づけながら訴えました。

集会には、日本共産党、社民党の代表も参加し、「もの言わぬ国民をつくって、国を私物化する。これを独裁国家と言われても仕方がない」(日本共産党)

大阪弁護士会の歴代会長が声明

集会に先立ち、大阪弁護士会歴代会長17人による

『共謀罪法案について十分な審議を求める会長経験者の

「共謀罪」法案には立法の具体的必要性にさまざまな見解があり、刑罰法規である以上、処罰範囲が明確でないことは重大な欠陥だと指摘して

「共謀罪」法案については十分な審議を求める会長経験者の声明は、「共謀罪」法案には立法の具体的必要性にさまざまな見解があり、刑罰法規である以上、処罰範囲が明確でないことは重大な欠陥だと指摘して、市民の自由を大きく制約するものだと批判しています。その上で、国民の半数が法案の内容をよく知らず、6割以上が国会で成立させる必要はないと答えている世論調査も示して、十分に審議を重ねることを強く求めています。



関西電力が、高浜原発4号機、福井県高浜町の再稼働を強行しました。高浜原発の3号機と4号機は、昨年3月に大津地裁から(新規制基準などが)直ちに公共の安全となると考えることをためらわざるを得ない」と根本的な疑問を突き付けられ、運転差し止めの仮処分決定が行われていました。しかし、今年3月に大阪地裁が新規制基準に適合していれば安全との判断を示し、大津地裁の決定を取り消したことで、再稼働が可能となったのです。関西電力は、3号機についても6月上旬に再稼働させる構えです。高浜原発に策定が義務付けられている避難計画には、京都府や滋賀県も含まれ、対象人口は約18万人にもなります。関西の水が琵琶湖にも近く、ひとたび事故が起こればその被害は甚大です。福井県と高浜町だけの同意で再稼働を強行するなど大問題です。滋賀県知事は、現状では、再稼働を容認できる環境にないなどとするコメントを発表しました。原発を、重要なベースロード電源と位置付ける安倍政権のもとで、これまで川内原発(鹿児島県)、伊方原発(愛媛県)が再稼働され、今回の高浜原発に続き、夏以降は玄海原発(佐賀県)、大飯原発(福井県)の再稼働も狙われています。福井原発の事故など無かつたかのような無責任さです。経済産業省は、この夏も昨年と同様、関西も含め全国で節電要請を見送ることを発表しました。3月の世論調査でも、再稼働反対が55%と賛成26%を大きく上回りました。国民を原発事故の危険にさらす再稼働推進政策には、もはや何の道理もありません。

第88回大阪メーデー

森友問題徹底追及
まともな働き方改革を



大障教からは13人が参加しました

5月1日、国民共同の力で「共謀罪」を廃案に追い込み、暴走する安倍政権を退陣に追い込もうと、全国各地で第88回メーデーが開催されました。大阪では扇町公園をはじめ、府内15カ所で地区メーデーが開かれ1万人以上が参加しました。扇町公園の集会には、大障教の組合員13人が参加しました。

すべての行政を住民の手に取り戻そう

扇町公園では、「共謀罪もカジノもあかん」「森友学園疑惑の徹底究明を」などの要求が書かれた、多彩な横断幕やプラカードで会場が埋め尽くされました。主催者を代表して開会あいさつをした川辺和宏さん(大阪労連議長)は、「世界で一番企業が活躍する国」をめざす安倍政権が、300兆円

を超える巨額の内部留保をかかえる大企業優遇政策を改めないことを強く批判しました。森友問題では、政権の必死の疑惑隠しにもかかわらず、次々と疑惑が出てきていると指摘し、「自民党・維新の会の腐敗構造が国民・府民の前に明白になっている」と述べました。その上で「維新の会が、カジ

ノ誘致や住民投票をもくろんでいる中で、大阪府政をはじめとしたすべての行政を住民の手に取り戻すために、アベ政治ノ、維新政治ノの壮大な流れを飛躍させよう」と呼びかけました。連帯あいさつを行った衆議院議員の宮本岳志さん(日本共産党)は、森友問題の背後にあるのは、「安倍内閣と維新勢力が一体となつた」教育勸誘教育推進の企

夜勤交代制の労働時間短縮など実効ある法規制を求め、「必要な人に必要な医療が提供できる社会の実現に向けて運動」をすすめる決意を述べました。府民連の有田事務局長は、松井知事が、2025年の大阪万博立候補の申請を行った際、誘致に不利になるからとカジノを隠したことを紹介し、カジ

ノ賭博を推進する安倍政権・維新政治を厳しく批判しました。自由法曹団の小林幹事長は、「自由な市民生活を委縮させる共謀罪は許せない」と述べ、安倍政権の言うことを聞かない「面倒くさい市民に一緒になろう」と訴えました。

と社会の実現にむけ、憲法を生かすための力を強めましょう」と訴える、「第88回大阪メーデー宣言(案)」が満場の拍手で採択されました。集会後に参加者は、西梅田公園・天満橋の2コーズに分かれ、「全ての労働者の大幅賃上げを行え」「ブラック企業をなくそう」などとシュプレヒコールを行いながらデモ行進しました。

8時間働けば安心して暮らせる社会の実現を

大障教定期大会

大会役員のみなさん
お疲れ様でした!



議事運営委員長

生野聴覚支援分会 近山代議員



泉南支援分会
藤田代議員



中央聴覚支援分会
近友代議員



守口支援分会
川村代議員

議長



北視覚支援分会
平野代議員

東大阪支援分会
荒谷代議員

書記

手話通訳をお願いした大阪聴力障害者協会のみなさん、ありがとうございました。